

大通中心街ビジョン

大通中心街の向かうべき方向性について、大通地区再生研究会の総意として関係者が共有する考え方

基本的方向性 六商店街が総力を挙げた“路面の魅力の再生”と“歴史が持つ可能性の展開”

目標像 1 クールでディープな札幌に出会える街
各ストリートの個性が輝き、多様な魅力が新陳代謝しながら発展する街

視点 1 **ストリートの超個性化**
ストリート毎に特徴的な店舗構成と街並みを創り、インターネット・札幌駅・郊外大規模店舗にはない魅力で、来街者やテナントを惹きつけます。

視点 2 **“フラッグシップ”の実現**
大通の集客・収益の新しい核となる旗艦店(フラッグシップ)を実現し、地区に新たな刺激と魅力を生み出します。

視点 3 **“大通遺産”の最大活用**
大通地区が蓄積する有形(建築物等)や無形(顧客や地域の繋がり等)の“遺産”を活用して、新・旧が混在した魅力づくりを行います。

目標像 2 **心地よい時を過ごせる街**
まちのルールが徹底され、すべての人がまちに快適にアクセスでき、豊かな時間消費ができる街

視点 4 **“大人のまなざし”行動**
ゴミ、自転車、しつこい勧誘…。もっと、安全安心に街を歩ける環境を整えたい。“大人目線”で街のルールとアクションを考えます。

視点 5 **交通アクセス、スマート化**
歩行者、自動車、地下鉄、バス、路面電車など様々な交通手段を整理して、快適に移動できる街を実現します。

視点 6 **“街のリビング”の充実**
買物だけが目的だった時代は過去のこと。時間消費を促す公共・共用の空間(=街のリビング)を充実化し、来街者に豊かな時間を提供します。

目標像 3 **Wow！と言わせる街**
雪景色を彩るデザインや温かいおもてなしが、世界中から都市観光客や富裕層を惹きつける街

視点 7 **“大通デザイン”の創造**
大通らしさを、目に見える形にして、発信します。“レジ袋から街並みまで”、行き届いたデザインは、街への愛着と誇りを生みだします。

視点 8 **“YOKOSO”大通**
地区の魅力を掘り起し、磨き、発信する、攻めのプロモーションと、街に不便さを感じている外国人や子連れ世帯に、心のこもった“おもてなし”を提供します。

空間づくりのコンセプトプラン

コンセプト1

唯一残された地区の一等地で世界を魅了し、街の将来をかける

大通中心街の顔『Tゾーン』



コンセプト2

『Tゾーン』から人の流れを引き込み、黄金回廊を中心とした回遊性を高める

個性で挑む『ストリート』



コンセプト3

界わい性のある歩行者空間で、人々を街区の奥まで誘い込む

街の奥へと誘う『パス』

